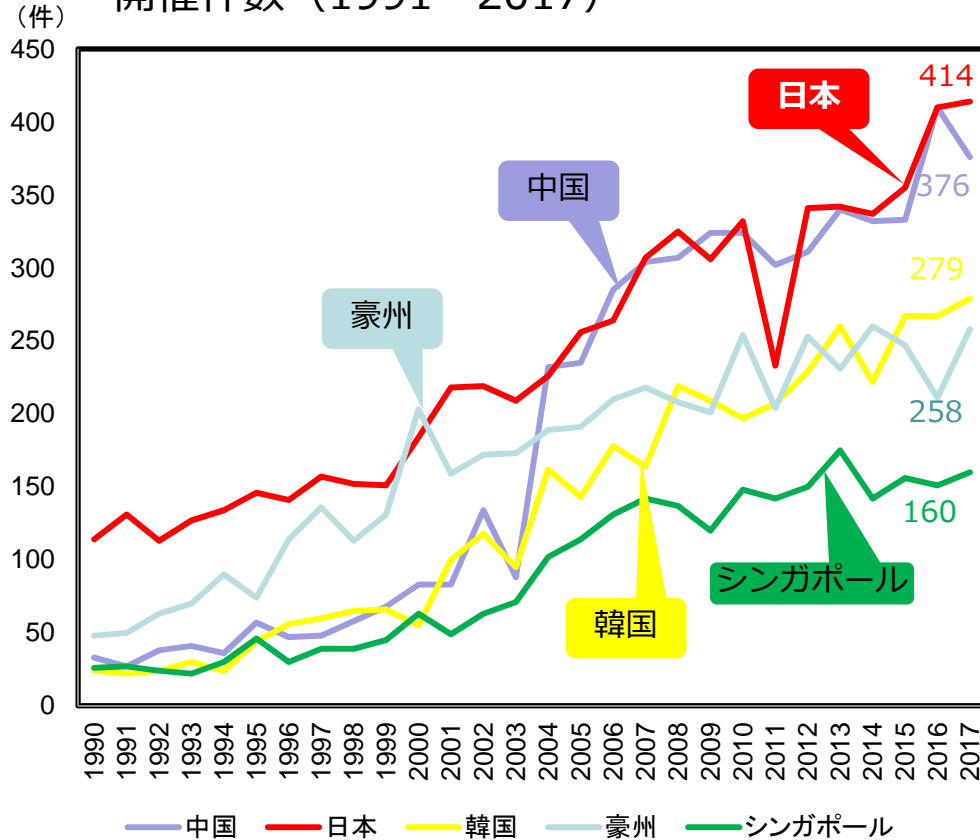


参考資料集

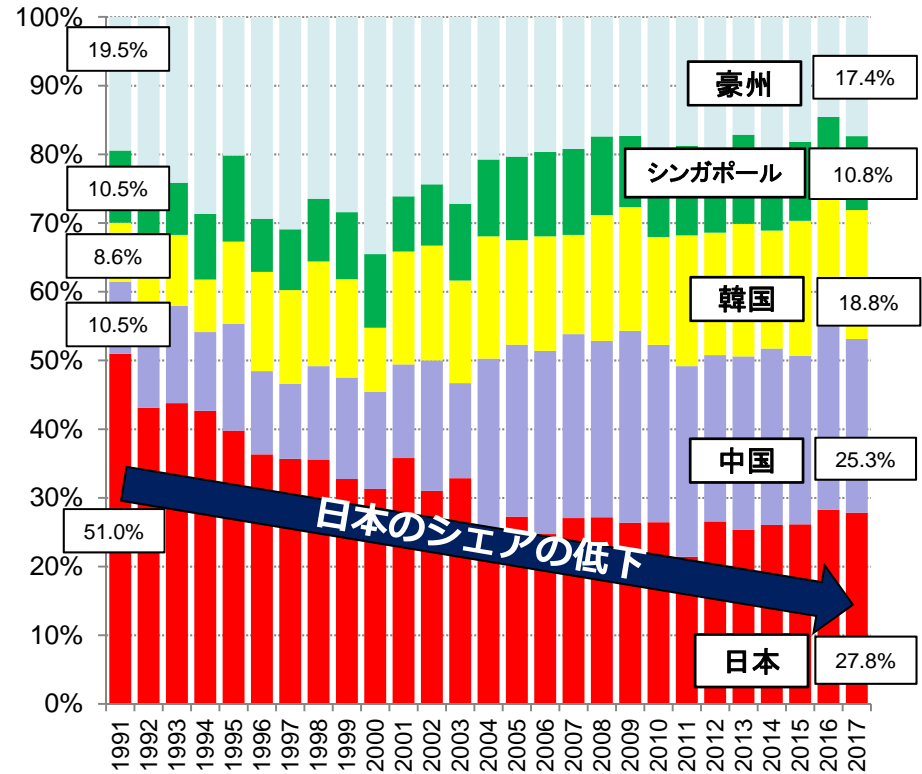
国際会議場施設及び展示等施設について①

(1) アジア・大洋州主要国の国際会議開催件数 (1991~2017)



(出典) ICCA (国際会議協会) 統計を基に観光庁が作成

(2) アジア・大洋州主要国の国際会議開催件数に対する日本のシェア推移 (1991~2017)



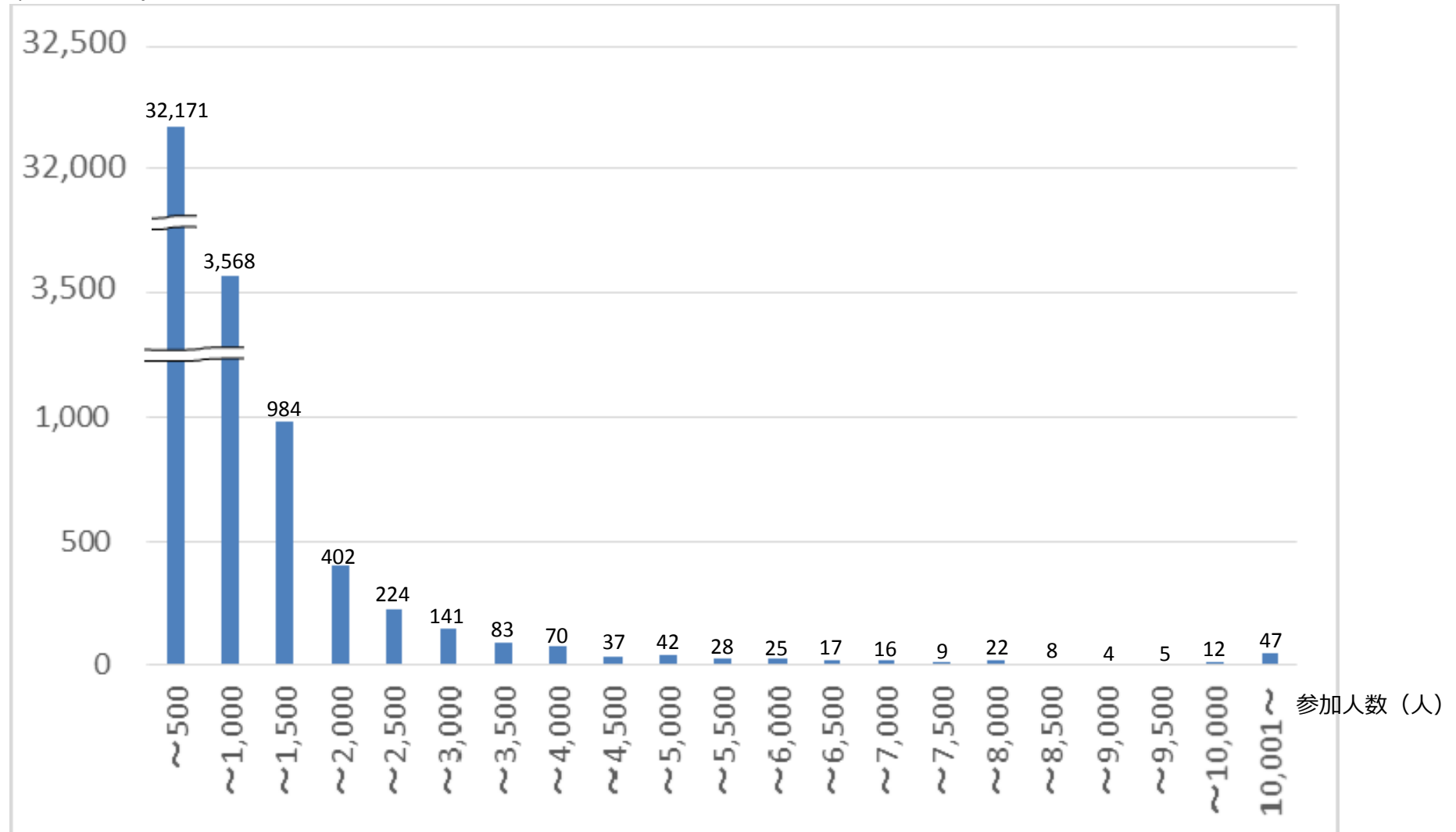
(出典) ICCA (国際会議協会) 統計を基に観光庁が作成

- アジア・大洋州地域を国別に見ると、我が国を含む主要5ヶ国（日本、中国、韓国、シンガポール、豪州）は年々開催件数を伸ばしている。（※日本の開催件数は131件（1991年）から414件（2017年）に増加）
- アジア・大洋州主要5ヶ国の開催件数に占める我が国のシェアは、1991年の51%から低下を続け、2017年は27.8%に落ち込んだが、シェア率は1位を維持している。

国際会議場施設及び展示等施設について②

(3) 世界の国際会議の規模別開催件数（2015年～2017年合計）

開催件数（件）

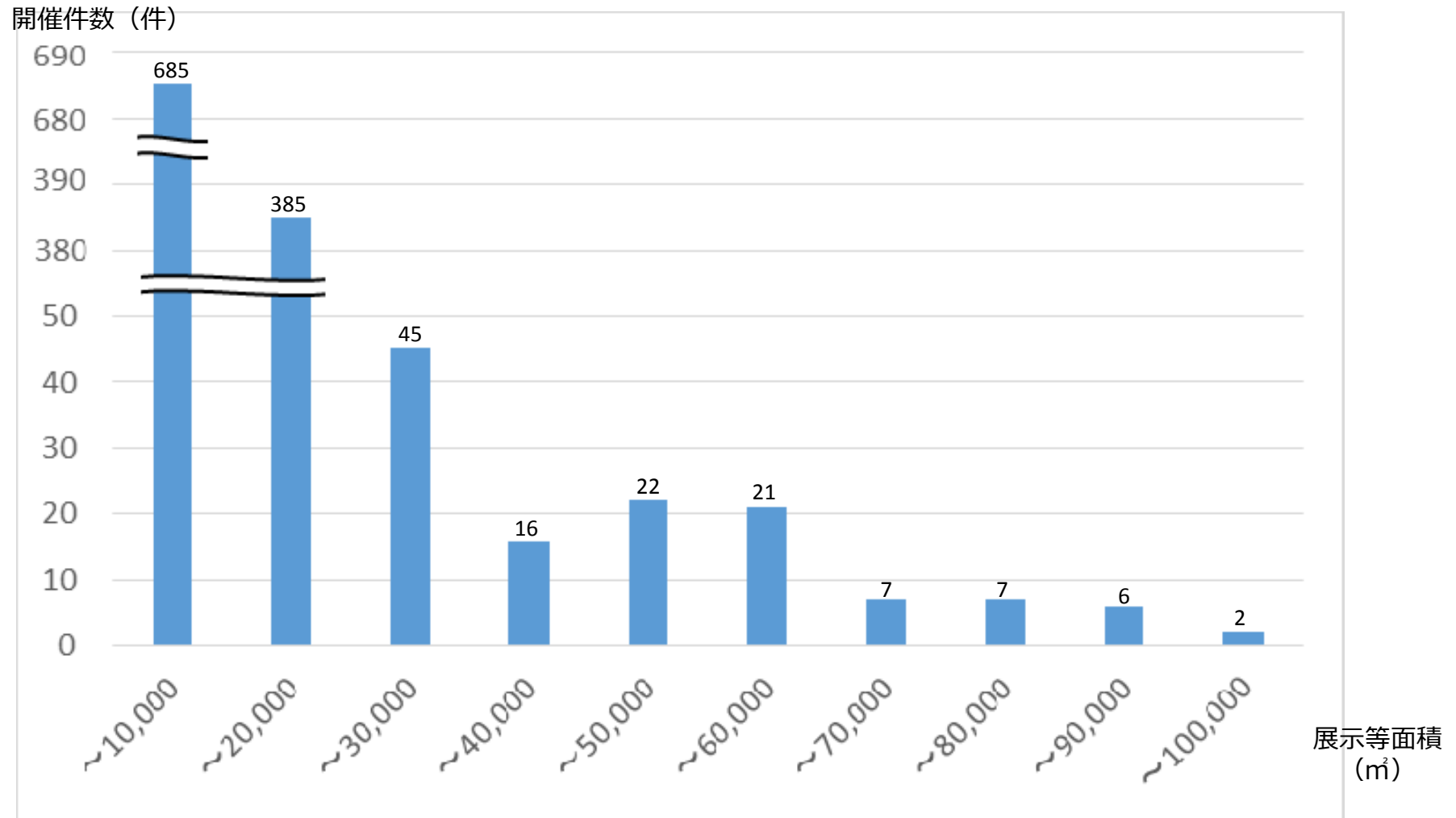


※ 参加人数が不明の会議は除く。

（出典）国際会議協会（ICCA）資料（2018年10月時点）を基に観光庁が作成したものを事務局において編集

国際会議場施設及び展示等施設について③

(4) 我が国の展示会等の規模別開催件数※ (2015年～2017年合計)



※ 有効展示等面積7万m²以上の施設（東京ビッグサイト、幕張メッセ、インテックス大阪）で行われたものについて集計。

※ 展示等面積が不明の展示会等は除く。ただし、一部、展示等面積区分が分かっているものについては判明している区分ごとの開催件数で割付け。

(出典) ピーオーピー「2018展示会データベース」を基に経済産業省が作成したものを事務局において編集

国際会議場施設及び展示等施設について④

(5) 我が国の主な国際会議場施設の概要

	施設名	①最大の国際会議室の収容人数	②会議場施設全体の収容人数	②÷①
1	東京国際フォーラム	5,012	10,642	2.1
2	パシフィコ横浜 ※1	5,002	11,276	2.3
3	シーガイアコンベンションセンター	3,300	5,959	1.8
4	名古屋国際会議場	3,012	9,868	3.3
5	福岡国際会議場	3,000	5,047	1.7
6	大阪府立国際会議場	2,754	8,578	3.1
7	大宮ソニックシティ	2,505	5,023	2.0
8	札幌コンベンションセンター	2,500	5,637	2.3
9	国立京都国際会館	1840 (4,684) ※2	11,754	2.5
10	長良川国際会議場	1,689	2,412	1.4
	平均値	3,346	7,620	2.3

※1 平成32年に最大の国際会議室の収容人数5,948人、施設全体の収容人数11,158人の新施設「ノース」が開業予定。

※2 国立京都国際会館は、最大の国際会議室（メインホール）の他、収容人数が近接する、ニューホール（シアター形式で1,644名収容）及びアネックスホール（シアター形式で1,200名収容）を有する。括弧内の数値は3つのホールの収容人数の合計値。「平均値」や「②÷①」は括弧内の数値で計算している。

（出典）観光庁作成資料及び各施設ホームページを基に事務局において作成

国際会議場施設及び展示等施設について⑤

(6) 我が国の主な展示施設の概要

順位	施設名	有効展示等面積 (㎡)
1	東京ビッグサイト※	95,420
2	幕張メッセ	75,098
3	インテックス大阪	70,078
4	ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）	33,946
5	パシフィコ横浜	20,000
6	石川県産業展示館	17,718
7	西日本総合展示場	16,517
8	神戸国際展示場	13,600
9	マリンメッセ福岡 + 福岡国際会議場	13,540
10	サンシャインシティ・コンベンションセンター	12,513

※ 平成31年7月に総展示面積20,000㎡の南展示棟が開業予定。

(出典) 株式会社ピーオーピー「2018見本市展示会総合ハンドブック」を基に経済産業省が作成した資料を事務局において編集

国際会議場施設及び展示等施設について⑥

(7) アジア・大洋州で行われた主な大規模国際会議の会場※1 (2015～2017年)

番号	会議名	開催地	会場	最大会議室の通常収容人数(人)
1	32 Congress of the Asia Pacific Academy of Ophthalmology	シンガポール	Suntec Singapore International Convention & Exhibition Centre	6,200
	24 Annual Meeting of the International Society for Magnetic Resonance in Medicine -ISMRM-	シンガポール	Suntec Singapore International Convention & Exhibition Centre	6,200
	37 Asia Pacific Dental Congress	シンガポール	Suntec Singapore International Convention & Exhibition Centre	6,200
2	ACM SIGGRAPH ASIA 2016	マカオ	The Venetian Macao	約6,100(7,450) ※2
	17 International Dragon Award Annual Meeting	マカオ	The Venetian Macao	約6,100(7,450) ※2
3	17 International Congress of Endocrinology	北京	China National Convention Center	5,700
4	23 World Congress on Intelligent Transport Systems	メルボルン	Melbourne Convention and Exhibition Centre	5,564
	18 International Dragon Award Annual Meeting	メルボルン	Melbourne Convention and Exhibition Centre	5,564
5	Asian Expo and Conference of the International Association of Amusement Parks and Attractions	シンガポール	Marina Bay Sands Pte Ltd.	約5,400(7,000) ※2
	Annual SWIFT Conference and Exhibition	シンガポール	Marina Bay Sands Pte Ltd.	約5,400(7,000) ※2
6	POWER-GEN Asia 2015 Conference & Exhibition	バンタプリー(タイ)	IMPACT Arena, Exhibition and Convention	約5,300(6,076) ※2
7	18 World Conference on Lung Cancer	横浜	PACIFICO YOKOHAMA Pacific Convention Plaza Yokohama	5,002
	31 International Congress of Psychology	横浜	PACIFICO YOKOHAMA Pacific Convention Plaza Yokohama	5,002
	19 International Congress of Cytology	横浜	PACIFICO YOKOHAMA Pacific Convention Plaza Yokohama	5,002
8	55 Orient and Southeast Asian Lions Forum	香港	AsiaWorld-Expo Management Limited	5,000

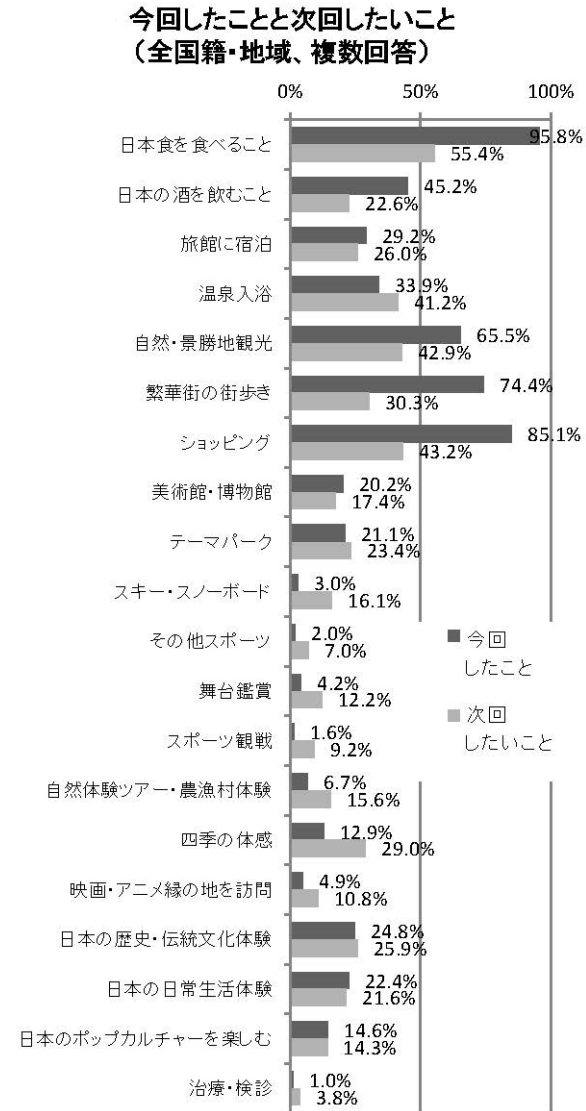
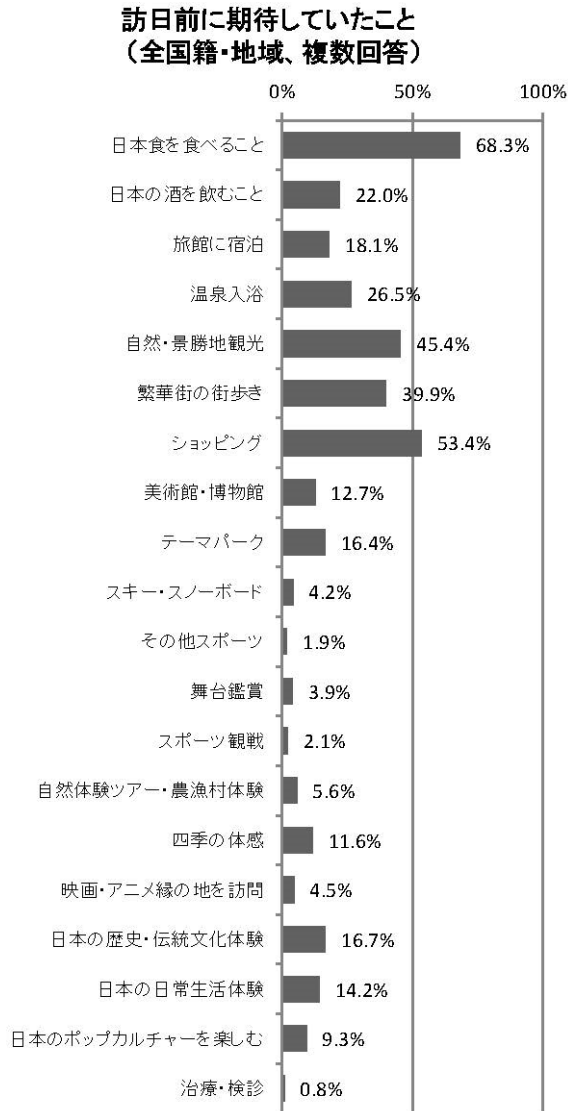
※1 大規模国際会議のうち、会場の最大会議室の収容人数が5,000人以上のものを記載。ただし、会場や会場となった施設のスペックが不明なものは除く。

※2 括弧内に各施設が公表するボールルームの最大収容人数を記載。ボールルームについては、移動式の簡易イスを設置して会議を行う場合が多く、相対的に一人当たりの専有面積が狭くなる傾向にあることから、面積を基準に割り出した標準的な収容人数を括弧外に記載。

(出典) 国際会議協会 (ICCA) 資料 (2018年10月時点) を基に観光庁が作成したものを事務局において編集 6

魅力増進施設について

○ 訪日外国人が求める日本の魅力（自然、歴史、文化、伝統、食等）



送客施設について①

(1) 外国人旅行者が求める主な情報・サービス

■観光案内所における情報・サービスの提供、利用状況(MA)

N=88

	観光案内所が提供している情報・サービス		外国人旅行者がよく使う(質問がある)情報・サービス		外国人旅行者から聞いている観光案内所においてほしい情報・サービス	
	0%	100%	0%	100%	0%	100%
1. 目的地までの公共交通の経路・情報	94.3%	84.1%	27.3%			
2. 公共交通の利用方法(乗り方)、利用料金	87.5%	68.2%	30.7%			
3. 公共交通の乗車券手配	26.1%	31.8%	14.8%			
4. 観光情報(見所、文化体験等)	84.1%	70.5%	29.5%			
5. 観光チケット(入場券等)の手配・販売	23.9%	19.3%	8.0%			
6. 飲食店情報	81.8%	63.6%	23.9%			
7. 飲食店の予約サービス	13.6%	5.7%	4.5%			
8. 宿泊施設情報	87.5%	64.8%	27.3%			
9. 宿泊施設の予約サービス	45.5%	51.1%	33.0%			
10. ツアー・旅行商品情報	31.8%	26.1%	14.8%			
11. ツアー・旅行商品の予約サービス	10.2%	15.9%	13.6%			
12. 割引チケット・フリー切符の情報	52.3%	37.5%	14.8%			
13. 割引チケット・フリー切符の手配・販売	14.8%	23.9%	5.7%			
14. 外国への電話のかけ方の情報	64.8%	36.4%	14.8%			
15. 無料公衆無線LAN環境情報	51.1%	44.3%	30.7%			
16. 両替・海外発行のクレジットカード利用可能なATM情報	75.0%	61.4%	30.7%			
17. PC利用環境情報(ネットカフェの場所等)	73.9%	58.0%	33.0%			
18. 多言語スタッフの常駐	44.3%	28.4%	22.7%			
19. 観光案内所が対応できない外国語の通訳の手配・連携	33.0%	10.2%	17.0%			
20. 外国語の通じる医者・病院の情報	46.6%	20.5%	14.8%			
21. 在日外国公館の情報	35.2%	17.0%	9.1%			
22. その他	4.5%	2.3%	1.1%			

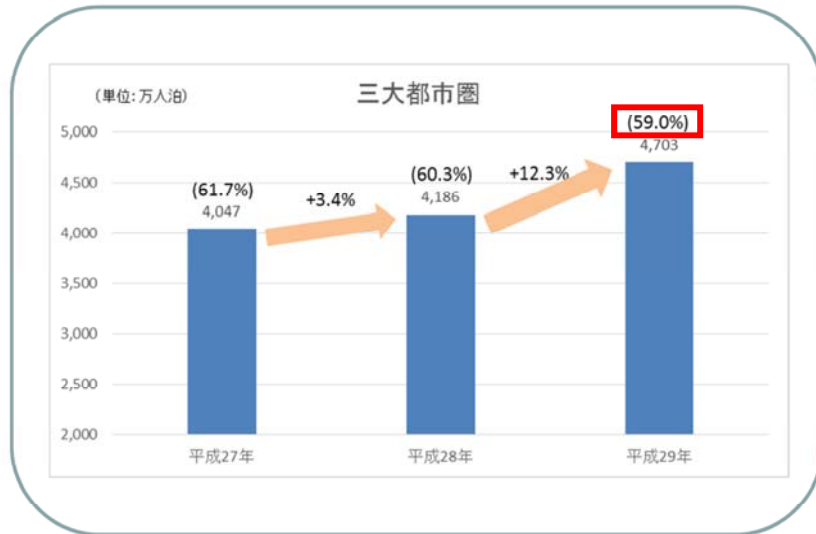
 : 外国人旅行者が求める主な情報

 : 外国人旅行者が求める主なサービス

(出典) 観光庁「観光案内所受入実態調査結果」より抜粋した情報を事務局において編集

送客施設について②

(2) 三大都市圏における外国人延べ宿泊者数



(出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査(平成29年・年間値(確定値))」より抜粋
 ※三大都市圏: 東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫の8都府県

(3) 「楽しい国 日本」の実現に向けて(提言)(抜粋)

(平成30年3月「楽しい国 日本」の実現に向けた観光資源活性化に関する検討会議(観光庁))

○ VR・AR等の最新技術の活用

観光資源等の付加価値を高める手段として、VR・AR等の最新技術を活用することは大変有効と考えられることから、訪日観光の旅前から旅中、旅後に至る各フェーズにおける満足度を高めるとともに、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック東京大会等も見据え、ビジネスモデルの確立のため、今後下記の事項に取り組むべきである。

※VR: Virtual Reality (仮想現実)
 AR: Augmented Reality (拡張現実)

(4) 外国人観光案内所認定区分(カテゴリー)

○ 認定区分と主な認定基準は以下のとおり。

認定区分	主な認定基準	認定件数
カテゴリー3	常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fi あり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。 ※ () 内は、日本全国を対象とした観光施設、交通機関、宿泊施設の予約・発券機能すべてを有するものを内数で示す。	50 (14)
カテゴリー2	少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。	286
カテゴリー1	常駐でなくとも何らかの方法で英語対応可能。地域の案内を提供。	520
パートナー施設	観光案内を専業としない施設であっても、外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲があり、公平・中立な立場で地域の案内を提供。	109
		計 965

(出典) 日本政府観光局(JNTO)ホームページに記載の情報を事務局において編集
 ※平成30年9月末現在

宿泊施設について①

(1) 諸外国のIRの宿泊施設の概要

国・地域名	IR施設名 (開業年)	ホテル名	客室数			最小客室面積	
			総客室数	スイートルーム	スイートルーム 割合	スイートルーム	全体
シンガポール	Marina Bay Sands (2010)	Marina Bay Sands	2,561	264	10.3%	97	39
	Resort World Sentosa (2010)	合計	1,612	197	12.2%	—	—
		Beach Villas	22	22	100%	76	—
		Crockfords Tower	121	121	100%	66	—
		Equarius Hotel	183	10	5%	96	51
		Festive Hotel	447	0	0%	—	32
		Hard Rock Hotel Singapore	364	9	2%	76	40
		Hotel Michael	464	24	5%	80	37
Ocean Suite	11	11	100%	93	—		
米国 ネバダ州	City Center (2009)	合計	5,884	2,114	35.9%	—	—
		Aria resort & casino	4,004	568	14.2%	78	48
		Waldorf Astoria	389	55	14.1%	60	47
		Vdara Hotel & Spa	1,491	1,491	100%	54	—
マカオ	Sands Cotai Central (2012)	合計	6,279	764	12.2%	—	—
		Conrad Macau	654	192	29.4%	104	52
		Holiday INN	1,224	65	5.3%	75	37
		Sheraton Grand	4,001	361	9.0%	65	42
		The ST. Regis	400	146	36.5%	103	51
	The Parisian(2016)	The Parisian	2,541	774	30.5%	72	33
	MGM Cotai(2018)	MGM Cotai	1,390	142	10.2%	87	43

(出典) 事業者へのヒアリングを基に事務局において作成

宿泊施設について②

(1) 諸外国のIRの宿泊施設の概要 (続)

国・地域名	IR施設名 (開業年)	ホテル名	客室数			最小客室面積	
			総客室数	スイートルーム	スイートルーム 割合	スイートルーム	全体
マカオ	City of Dreams (2009)	合計	2,179	614	28.2%	—	—
		Grown Towers(Nuwa)	290	88	30.3%	78	47
		The Countdown	326	70	21.5%	49	31
		Grand Hyatt	791	288	36.4%	64	52
		Morpheus	772	168	21.8%	73	58
	Studio City (2015)	合計	1,598	113	7.1%	—	—
		Celebrity Tower	996	19	1.9%	85	42
Star Tower		602	94	15.6%	62	62	
韓国	Paradise City (2017)	合計	769	171	22.2%	—	—
		PARADISE	711	113	15.9%	68	45
		ART PARADISO	58	58	100%	57	—
フィリピン	City of Dreams, Manila (2015)	合計	938	86	9.2%	—	—
		NÜWA Hotel	254	52	20.5%	74	50
		NOBU Hotel	321	21	6.5%	68	36
		Hyatt City of Dreams Manila	363	13	3.6%	86	36
平均			2,495	617	19.2%	65.6	40.0

※ 平均についてはIRの立地する国・地域ごとに平均を算出した上で、全体の平均を算出。

(出典) 事業者へのヒアリングを基に事務局において作成

(2) 我が国を代表する宿泊施設の概要

ホテル名	客室数			最小客室面積 (㎡)	
	総客室数	スイートルーム	スイートルーム割合	スイートルーム	全体
帝国ホテル東京	931	56	6.0%	58	31
ホテルオークラ東京	381	22	5.8%	66	33
ホテルニューオータニ東京	1,479	63	4.3%	52	23
平均	930	47	5.3%	58.7	29.0

(出典) 各施設ホームページ等を基に事務局において作成 11

宿泊施設について③

(3) 世界的なブランドのホテルの概要

ホテルブランド名	国・地域名	ホテル名（開業年、改修年）	客室数			最小客室面積（㎡）	
			総客室数	スイートルーム	スイートルーム割合	スイートルーム	全体
JWマリオット	シンガポール	JW Marriott Hotel Singapore The South Beach (2015)	634	47	7.4%	74	23
ザ・リッツ・カールトン	香港	The Ritz Carlton Hong Kong (2011)	312	—	—	75	51
	京都	The Ritz Carlton Kyoto (2014)	134	17	12.7%	62	45
セントレジス	上海	The St. Regis Shanghai Jingan (2017)	491	67	13.6%	65	46
	大阪	The St. Regis Osaka (2010)	160	—	—	87	43
ウェスティン	シンガポール	Westin Singapore (2013)	305	16	5.2%	66	40
パークハイアット	ニューヨーク	Park Hyatt New York (2014)	210	92	43.8%	65	46.4
ウォルドルフ アストリア	上海	Waldorf Astoria Shanghai on the Bund (2011)	260	53	20.4%	55	50
コンラッド	ロンドン	Conrad London St.James (2012)	256	15	5.9%	54	—
	北京	Conrad Beijing (2013)	—	—	—	87	46
	大阪	Conrad Osaka (2017)	164	8	4.9%	100	50
フォーシーズンズ	ロンドン	Four Seasons Hotel London at Park Lane (2011)	193	42	21.8%	49	25
		Four Seasons Hotel London at Ten Trinity Square (2017)	100	11	11.0%	65	28
	ニューヨーク	Four Seasons Hotel New York Downtown (2016)	189	28	14.8%	67	37
	北京	Four Seasons Hotel Beijing(2012)	313	66	21.1%	73	46
	上海	Four Seasons Hotel Pudong, Shanghai (2012)	187	15	8.0%	88	36
	京都	Four Seasons Hotel Kyoto (2016)	123	13	10.6%	71	49
インターコンチネンタル	ロンドン	InterContinental London - The O2 (2016)	453	59	13.0%	—	29
	ニューヨーク	InterContinental New York Times Square (2010)	611	4	0.7%	51	33
	シンガポール	InterContinental Singapore Robertson Quay (2017)	225	—	—	36	23
	北京	InterContinental Beijing Sanlitun (2016)	—	—	—	70	45
	上海	InterContinental Shanghai Expo (2010)	384	—	—	75	42
		InterContinental Shanghai Hongqiao NECC (2016)	—	—	—	58	40
		InterContinental Shanghai Jing'An (2009)	—	—	—	74	45
	大阪	InterContinental Osaka (2013)	272	—	—	59	47
シャングリラ	ロンドン	Shangri-La Hotel at the Shard London (2014)	202	—	—	60	30
	パリ	Shangri-La Hotel Paris (2010)	100	37	37.0%	55	36
平均			273	35	14.8%	67.0	39.7

※ スイートルームの割合については、スイートルームの数が判明している施設の平均値。

（出典）各施設及び旅行会社ホームページ等を基に事務局において作成

宿泊施設について④

(3) 日本の大規模なホテルの概要

ホテル名	客室数			最小客室面積 (㎡)	
	総客室数	スイートルーム	スイートルームの割合	スイートルーム	全体
品川プリンスホテル	3,560	1	0.03%	53	13.2
アパホテル&リゾート 〈東京ベイ幕張〉	2,007	3	0.1%	89.2	11
ホテルニューオータニ	1,479	63	4.3%	71	23
京王プラザホテル	1,438	21	1.5%	71	23.5
アワーズイン阪急	1,388	—	—	—	12.5
新宿ワシントンホテル本館	1,279	—	—	—	13
苗場プリンスホテル	1,224	4	0.3%	66.6	18.9
サンシャインシティ プリンスホテル	1,109	12	1.1%	75	16.6
ヒルトン福岡シーホーク	1,053	68	6.5%	54	19
東京ドームホテル	1,006	50	5.0%	33	26
平均	1,554	28	2.3%	64.1	17.7

※:京王プラザホテルについては、上記以外に一部公表されていないスイートルームあり。

(出典) 各施設公表資料等を基に事務局において作成

I R 区域以外の地域で広告物の表示等が制限されない施設について①

○ 直近の国際線就航空港について

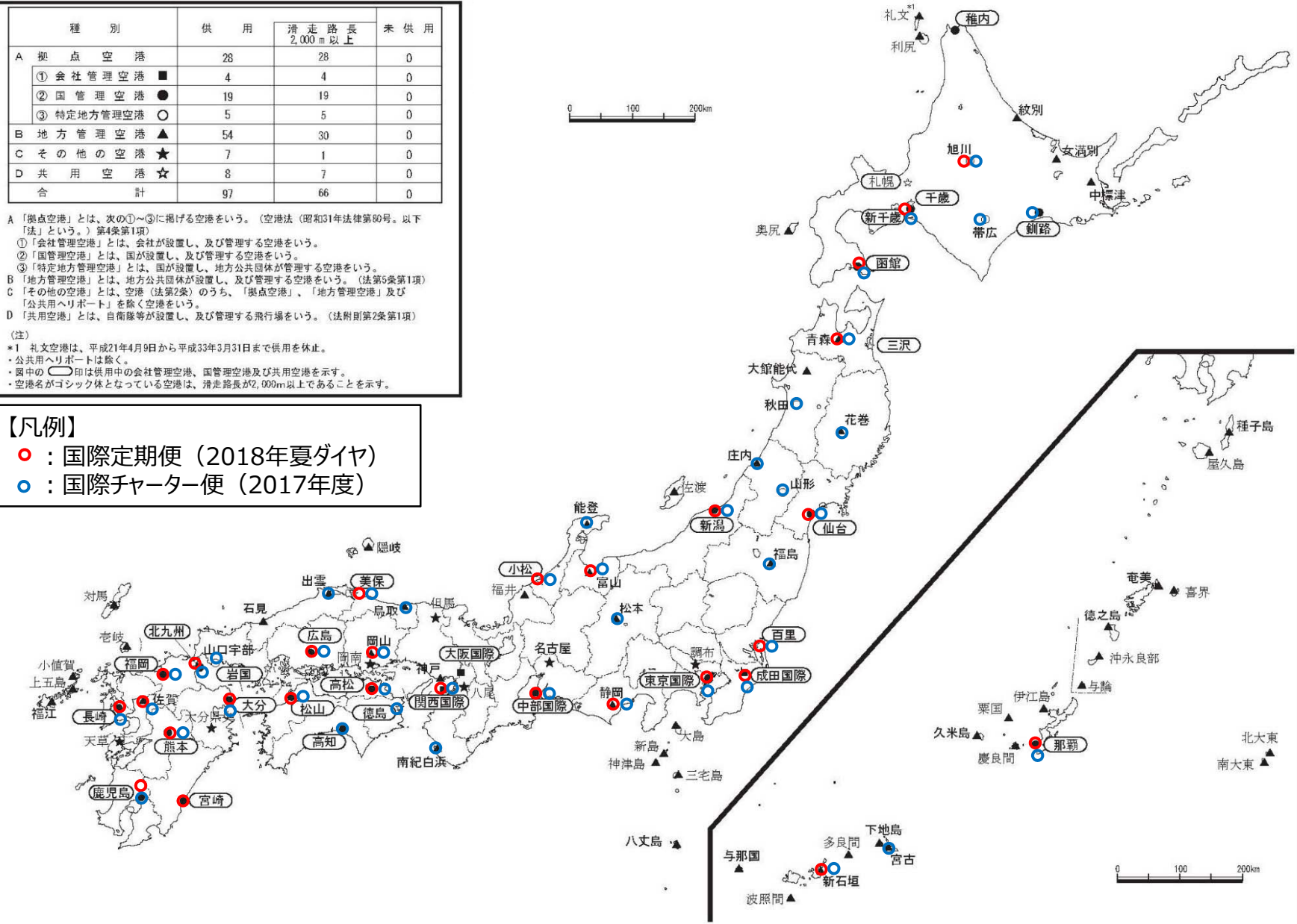
種別	供用	滑走路長 2,000 m 以上	未供用
A 拠点空港	28	28	0
① 会社管理空港 ■	4	4	0
② 国管理空港 ●	19	19	0
③ 特定地方管理空港 ○	5	5	0
B 地方管理空港 ▲	54	30	0
C その他の空港 ★	7	1	0
D 共用空港 ☆	8	7	0
合計	97	66	0

A 「拠点空港」とは、次の①～③に掲げる空港をいう。（空港法（昭和31年法律第80号。以下「法」という。）第4条第1項）
 ①「会社管理空港」とは、会社が設置し、及び管理する空港をいう。
 ②「国管理空港」とは、国が設置し、及び管理する空港をいう。
 ③「特定地方管理空港」とは、国が設置し、地方公共団体が管理する空港をいう。
 B 「地方管理空港」とは、地方公共団体が設置し、及び管理する空港をいう。（法第5条第1項）
 C 「その他の空港」とは、空港（法第2条）のうち、「拠点空港」、「地方管理空港」及び「共用ヘリポート」を除く空港をいう。
 D 「共用空港」とは、自衛隊等が設置し、及び管理する飛行場をいう。（法附則第2条第1項）

（注）
 ＊1 礼文空港は、平成21年4月9日から平成33年3月31日まで供用を休止。
 ・共用ヘリポートは除く。
 ・図中の○印は供用中の会社管理空港、国管理空港及び共用空港を示す。
 ・空港名がゴシック体となっている空港は、滑走路長が2,000m以上であることを示す。

【凡例】

- : 国際定期便（2018年夏ダイヤ）
- : 国際チャーター便（2017年度）



I R 区域以外の地域で広告物の表示等が制限されない施設について②

○ 我が国におけるクルーズターミナルの整備状況について

①【青森港（東北）】

新中央埠頭
(2018年度供用開始予定)

②【秋田港（東北）】

中島埠頭 クルーズターミナル

③【東京港（関東）】

1.晴海客船ターミナル
2.東京国際クルーズターミナル(青海)
(2020年7月供用開始予定)

④【横浜港（関東）】

1.大さん橋国際客船ターミナル
2.新港地区客船ターミナル
(2019年供用開始予定)

⑤【新潟港（北陸）】

中央埠頭国際旅客ターミナル

⑥【金沢港（北陸）】

無量寺岸壁クルーズターミナル
(2020年供用開始予定)

⑦【清水港（中部）】

日の出地区マリンターミナル

⑧【名古屋港（中部）】

ガーデン埠頭名古屋港ポートビル

⑨【舞鶴港（近畿）】

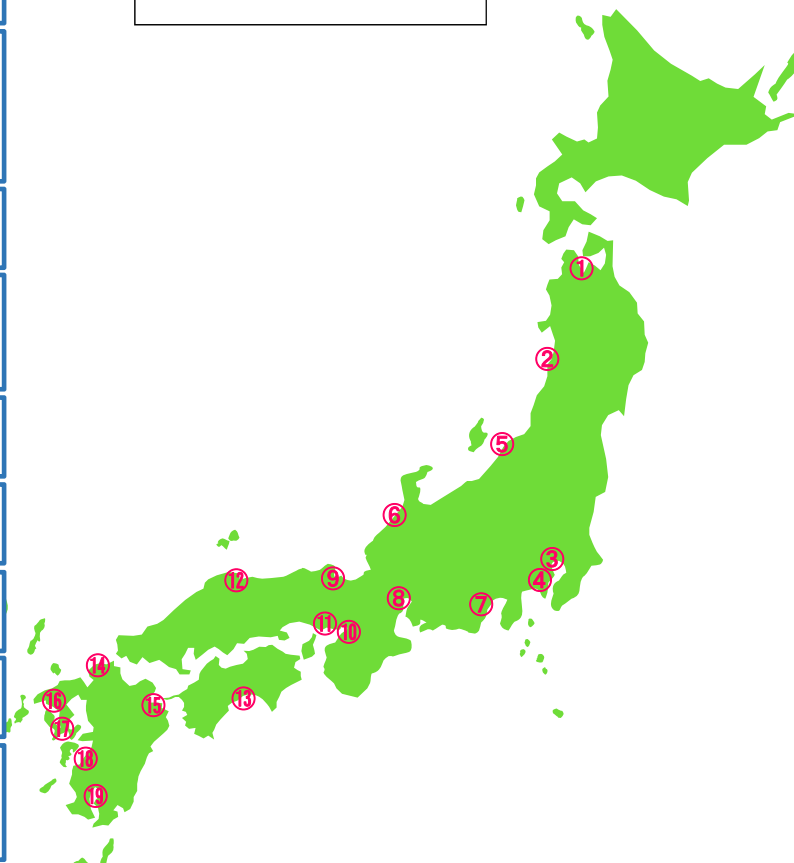
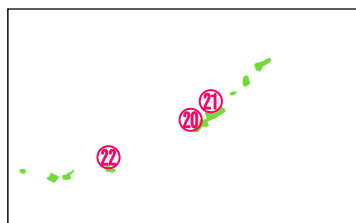
第2ふ頭旅客ターミナル

⑩【大阪港（近畿）】

天保山客船ターミナル

⑪【神戸港（近畿）】

1.神戸ポートターミナル
2.中突堤旅客ターミナル



⑫【境港（中国）】

1.外港1号国際旅客ターミナル
2.外港竹内南地区貨客船ターミナル
(2020年4月供用開始予定)

⑬【高知港（四国）】

三里7-3岸壁
(2018年度供用開始予定)

⑭【博多港（九州）】

中央ふ頭クルーズセンター

⑮【別府港（九州）】

国際観光港第4埠頭受入施設

⑯【佐世保港（九州）】

1.三浦地区国際ターミナル
2.浦頭地区旅客ターミナル
(2020年4月供用開始予定)

⑰【長崎港（九州）】

松が枝国際ターミナル

⑱【八代港（九州）】

(2020年4月供用開始予定)

⑲【鹿児島港（九州）】

1.マリンポートかごしま
かごしまクルーズターミナル
2.中央港区旅客ターミナル
(2022年供用開始予定)

⑳【那覇港（沖縄）】

泊8号那覇クルーズターミナル

㉑【本部港（沖縄）】

(2020年4月供用開始予定)

㉒【平良港（沖縄）】

1.平良港マリンターミナル
2. (2020年4月供用開始予定)

※外航クルーズ船の旅客の受入実績及び予定があるターミナルを記載。
※なお、2017年に10万総トン以上のクルーズ船が寄港した港湾は130港。

(出典) 各港HP及び各港湾管理者からの聞き取りにより国土交通省港湾局が作成したものを事務局において編集